

科学する心を育てる保育実践を募集する「ソニー幼児教育支援プログラム」
全国94園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催 6月27日(土) めるへんの森幼稚園(宮城県仙台市)

公開保育・研究発表などを通じ県内外の保育関係者に向けて独自の保育実践を公開

講師：青山学院女子短期大学教授 岸井慶子氏

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 中鉢良治)は、2014年度「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた 学校法人支倉学園 めるへんの森幼稚園(宮城県仙台市、園長:伊勢 千春)にて「最優秀園実践発表会」を開催します。

「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育研究を推進したソニー創業者 井深大の考えを受け継ぎ、2002年から実施している園への教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、3歳から5歳の保育実践と、その考察に基づく今後の方向性を募集し、これまでに全国の幼稚園・保育所・認定こども園から約1000件の応募、600を超える園が受賞しています。

今回、「最優秀園実践発表会」を行う めるへんの森幼稚園 は、2014年にご応募いただいた94園の中から選出され、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 役員待遇フェロー)ら4氏による審査、現地調査を経て「最優秀園」を受賞。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」の芽生えを育む取り組みや成果について、公開保育、研究発表などを通じて先生方を中心とする保育関係者にご紹介いたします。

「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園実践発表会(公開保育・研究発表) 開催概要

めるへんの森幼稚園 (宮城県仙台市)

研究主題: 「科学する心を育てる」～自然の中での幼児の好奇心・探究心の育ちを探る～

開催日時: 2015年6月27日(土) 9:00～16:10

会場: 学校法人支倉学園 めるへんの森幼稚園
宮城県仙台市泉区加茂2丁目24-2

時程: 【公開保育】 9:30～10:50
【開会式・研究発表】 11:05～11:40
【指導講評】 11:40～12:10
【グループ協議】 13:10～14:15
【記念講演】 14:30～16:00

講師: 青山学院女子短期大学教授 岸井慶子氏
演題「自然体験がもたらすこれからの幼児の育ち」



- ※ めるへんの森幼稚園からのご案内は「第二次案内」をご覧ください。参加については直接園にご相談ください。
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/jissen/pdf/2015/2015_meruhenn_02.pdf
- ※ めるへんの森幼稚園の最優秀園論文全文はホームページでお読みいただけます。
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014_pre_meruhenn.pdf

「ソニー幼児教育支援プログラム」最優秀園 論文
学校法人支倉学園 めるへんの森幼稚園（宮城県）

論文テーマ： もっと知りたい！樹液の世界！！
～自然の中での幼児の好奇心・探究心の育ちを探る～

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2014_pre_meruhenn.pdf)

【審査講評】

子どもたちの繰り返し「やってみる」体験と「試行錯誤」が、好奇心・探究心の膨らみにつながっています。この実践を、考察の整理を工夫して示すことにより、主題である「科学する心を育てる」の理解が園の中で深まっていった様子が読み取れます。隣接する豊かな自然公園を保育に活用し、“自然の匂い”“植物と生き物の繋がり”など、園内の環境だけではできない体験の深まりも見られました。昨年から継続して「樹液」という自然物を保育に使ったことで、自分たちの思い通りに進まない子どもたちに「なぜだろう」という疑問がたくさん生まれました。自然に対する謎への探究を深める体験は、「科学する心」の本質であると高く評価されました。活動を通して失敗を乗り越える体験や、動植物と積極的に関わる体験をしている子どもたちの感性や気づきに焦点を当て、興味や探究を深める保育展開は、多くの園の参考になる実践です。

■ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもたちの主体的な遊びや生活を大切に「豊かな感性」と「創造性」の芽生えを育むための保育実践と、その考察に基づく今後の方向性をまとめた論文を募集し、実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年約100園のみなさまにご応募いただいています。審査委員長の小泉英明氏（株式会社日立製作所 役員待遇フェロー）をはじめとする各界の有識者により、予備審査・中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び出し、実践事例集として毎年冊子を発行。事例はホームページからお読みいただくことができ、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

■ソニー教育財団について

ソニー創業者の井深大は、その設立趣意書の中で「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げています。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心を持ち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立。2000年には子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。これまでに延べ11,000校を超える応募があり、教育資金を贈呈するなど、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の小・中学校や先生方を支援してきました。

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立し、その研究と実践を推進しました。2001年には2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」を設立。2011年より「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行し、今日に至ります。



ソニー創業者 井深大

＜報道関係の問い合わせ先＞

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ：<http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック：<https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>